

令和5年度



学校だより
4月号

かわかみ

令和5年4月7日

横浜市立川上小学校

横浜市戸塚区秋葉町203-2 電話 811-9345 FAX 811-5961

川上 Update ～学校づくりの精度を上げる～

学校長 堀部 尚久

校舎に沿って並ぶ鉢植えのチューリップが見事に咲き誇り、春爛漫を感じる新年度のスタートとなりました。季節を彩る花々は、入学や進級をお祝いしているかのように思われます。4月、保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級を心よりお祝い申し上げます。

希望に満ちあふれ、夢膨らむ新年度、子どもたちは、今年もたくさんの友達と仲よくしたい、いろいろなことができるようになりたい、分かるようになりたいと、この1年の学びや生活に対する期待も大きいことと思います。進級したばかりのこの時期は、あらゆる面で成長を実感できる機会があり、ステップアップしていくにはよい時期でもあります。子どもたちは、他者に認められながら、必要とされている自分の役割や立場があるということ、一回り成長を重ねます。頑張ろうとする今の気持ちを大切に、少し難しいことに対しても、自ら挑戦しながら、これまでよりわずかでも成長した「自分探し」「自分づくり」に向き合ってほしいと願っています。

川上小学校の令和5年度は、昨日の入学式によって仲間入りした39名の新1年生を加え、児童数286名、学級数14学級で始まりました。昨年度は、創立130周年を経て、新たな10年に向けて歩みだした年であったことから、「川上 Restart」を掲げて教育活動を進めてきました。令和4年度からの3年間を見据えて作成した「中期学校経営方針」に示した具体的取組を念頭に置き、学校教育目標「**たがいに思いやり 自ら考え たくましく生きる 川上の子～ かがやく わたし かがやく みんな～**」の理念を大事にしながら、本校教育活動の質的な向上に努めてきました。

令和5年度は、そうした方針に基づき重ねてきた教育活動の「Update」の年であると考えています。updateとは、「ソフトウェアを最新の状態に更新すること」であり、端的には、「更新」と訳されます。一般的に、ソフトウェアの更新は、数分で終わるものもあれば、長くても1日あれば更新されて最新の状態に置き換わります。しかし、学校における教育活動の更新は、時間を要することもたくさんあると考えます。当然ながら、すぐに変えなくてはならないこと、見直しが必要なことは、時を待たずしてすぐに変えていくこととなりますが、「after コロナ」といわれるようになった今、川上小学校では、この1年間を掛けて様々な視点からの更新を視野に入れ、本校の教育活動が最新の状態になるよう学校運営の機能の強化を図り、教育活動の質的な向上を目指し、学校づくりの精度を高めていきたいと考えています。

その一例を挙げると、これまで毎週月曜日に実施してきた「朝会」があります。本年度からは、原則的に毎週火曜日に実施します。週明けの月曜日は、子どもたちにとっては、登校時にたくさんの荷物を持って登校する日ということになります。登校後すぐに朝会に間に合うように準備するには、せわしない朝の時間となりました。また、担任にとっても、一人ひとりの健康観察を丁寧に行うには、慌ただしく迎える週明け月曜日の朝は、十分な時間を確保しにくいというのが現実でした。特に、コロナ禍の状況下では、月曜日の朝の時間の大切さを痛切に感じることであり、子どもたちにとっても、担任にとっても、必要以上に負担が掛かっていたのではないかとこのことに気付かされたからです。



【令和5年度教職員】

そのほかにも、水曜日課（簡単清掃）の見直しにより、5校時開始時刻の繰り下げも行います。また、個人用水筒の使用も、引き続き年間を通してお願いしていく方針であることも、コロナ禍における教訓として活かしていきたいと考えています。また、本校の特色ある「縦割り活動」をさらに充実させるために、日々年間を通して行う異学年交流のあり方とともに、本校の三大学校行事（5月運動会・11月全校遠足・2月学習交流会）のあり方も改善を図る予定です。

先に掲げた学校教育目標の実現は容易なことでは叶いませんが、本校の特色や強みを活かし、「子どもにとって」、「子どもファースト」、「子ども中心に」という考え方を教育活動の基盤に置きながら、「川上 Update」を進めていきたいと考えます。子どもが主体となる学校観へ「観」の転換を引き続き意識し、チーム一丸となって学校づくりの精度を高めてまいります。本年度も保護者・地域の皆様方の温かいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。